

令和元年度事業報告

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

第1 方針

当財団は、犯罪なき繁栄を究極の目的とし、犯罪防止に係る諸活動を行うとともに、各国の刑事司法関係者等との交流を積極的に進めあるいは支援して、協力・協調関係の構築を図る。

このため、以下の事業を計画し推進した。

第2 公益目的事業

1 研修等支援事業

国連アジア極東犯罪防止研修所（以下「アジ研」という。）等の実施する国際研修及び研修参加者に対する支援を目的とし、令和元年度も、意見交換・交流会等、次の事業を実施した。

(1) 令和元年度にアジ研で実施された第172回国際研修等の国際研修の機会に、研修参加者等と当財団会員等との意見交換・交流会を開催し、研修用資材等を提供した。

また、これらの研修期間中に実施された各種交流行事を支援して市民レベルでの国際相互理解を促進させた。

(2) 当財団本部が参画して、次の意見交換・交流会を開催した。

第22回汚職防止刑事司法支援研修（令和元年10月9日～同11月15日）

同上

第174回国際高官セミナー（令和2年1月16日～同2月14日）

同上

(3) 当財団支部が主催して、次の会員等との意見交換・交流会を開催した。

第172回国際研修（令和元年5月15日～同6月20日）

期成会（支部）会員等と研修参加者等との意見交換・交流会

横浜支部会員等と研修参加者等との意見交換・交流会

第174回国際高官セミナー（令和2年1月16日～同2月14日）

広島支部会員等と研修参加者等との意見交換・交流会

(4) アジ研の第173回国際研修参加者を当財団の数支部が分担招待して、その地域での刑事関係施設等を視察・見学させ、当該支部会員等との意見交換・交流会を開催した。

2 講演会等事業

一般市民の刑事司法・犯罪防止への理解、信頼を保持・増進し、また、防犯意識や遵法意識の醸成及び啓発を目的とし、令和元年度も、公開講演会や文書・図書類の配布等、次の事業を実施した。

(1) 本部主催講演会等

アジ研の第22回汚職防止刑事司法支援研修の客員専門家による講演会
令和元年10月28日 経営法友会と共催
テーマ：汚職防止に向けた企業への施策—香港の先進的経験—
講師：香港反汚職委員会コミュニティリレーション部門専門家

アジ研の第174回国際高官セミナーの客員専門家による講演会
令和2年1月31日 刑事政策研究会及びアジ研と共催
テーマ：社会内処遇—クロアチア刑事司法における新施策
講師：クロアチア共和国司法省刑務所制度・保護観察部局大臣補佐官
テーマ：元受刑者の受容に向けて—イエロー・リボン・プロジェクト
講師：シンガポール共和国リハビリテーション企業公社最高責任者

(2) 支部主催講演会等

亀龍会（支部） 令和元年5月28日
テーマ：最近の犯罪情勢について
講師：法務総合研究所総務企画部長
テーマ：法科大学院問題について
講師：法科大学院協会理事長、専務理事、事務局長ほか

埼玉支部 令和元年8月6日
テーマ：刑務所の中の学校～学びと感動が人を変える～
講師：元松本少年刑務所桐分校教官
令和元年12月3日
テーマ：私のコマッタちゃん
講師：保護司

広島支部 令和元年11月11日
テーマ：民事的側面から見た暴力団対策
講師：弁護士、日弁連民暴対策委員長
テーマ：官民連携による暴力団の排除
講師：元警視総監

名古屋支部 令和元年12月4日
名古屋刑務所見学
令和元年12月18日
犯罪白書説明会出席

札幌支部 令和2年2月17日
テーマ：世論と刑事罰
講師：札幌地方検察庁検事正

(3) 国際貢献カレンダーの作成及び配布

犯罪防止活動の重要性の啓発等を目的として、これらに関する標語（例えば「犯罪なき繁栄」は薬物汚染の撲滅から！）などを掲げた国際貢献カレンダーを日本語及び他の言語併載で作成し、開発途上国における犯罪防止活動への支援、キャンペーングッズの提供として当該諸国の関係機関に無償で贈るとともに、我が国内の刑事司法関係機関等に無償で配布した。

(4) 手帳「安全な国 日本」の頒布

日本の安全性やそれを支える刑事司法機関等への理解・信頼を深め、犯罪防止活動に資することを目的として平成 29 年度に改訂した、内外の刑事司法等に係る統計とその簡略な説明を付記したハンディな手帳「安全な国 日本」について、当財団会員等に配布するとともに、講演会等の機会を通じて希望者に無償又は有償で頒布した。

3 海外関係事業

アジ研及び海外の刑事司法関係者、機関等との協力関係を通して、海外での公益目的を達成する事業として、令和元年度も、各種刑事司法関係会議等への参加やその開催及びそれらに参加・参画する者等への支援等、次の事業を実施した。

(1) 2020 年国連犯罪防止刑事司法会議（コンGRESS）を視野に入れた準備活動

2020 年コンGRESS時の ACPF 主催アンシラリー・ミーティング（附属会議、「汚職対策」、「刑事司法と社会福祉の協働」）開催に向けた準備協議を行った。その結果、ACPF 主催で 2 つの附属会議を開催することとし、コンGRESS事務局に登録を行った。またアジ研と共催で附属会議「アジ研同窓生のその後の活躍」を開催することとし、登録した。

また、ACPF の宣伝ブースを設置することとし、出展申し込みを行った。

また、アジ研同窓生と ACPF の意見交流会を企画し、2020 年 4 月の開催に向け準備した。

ただし、新型コロナウイルスの影響に鑑み、2020 年 3 月 21 日、国連から上記コンGRESSの延期が宣言されたため、上記準備を同日以降中止した。

(2) タイ刑政財団とのセミナーの共催（時期：令和 2 年 2 月予定、開催国：タイ）

平成 25～30 年度に引き続き、タイの協力団体（タイ刑政財団）と共催し、タイの刑事司法関係等の専門家・実務家に講演を依頼して、同国に進出している日本企業の関係者一般を対象に、「タイにおける望ましい企業進出の在り方」を基本テーマとして、同国におけるコンプライアンスの確立・犯罪防止に関する公開講演会形式のセミナーを開催する予定であったが、上記 2020 コンGRESS準備があり、開催を見送った。

(3) フィリピン刑政財団とのセミナーの共催（時期：令和元年 7 月 19 日、開催国：フィリピン）

新企画として、フィリピンの協力団体（フィリピン刑政財団）と共催し、フィ

フィリピンの刑事司法関係等の専門家・実務家に講演を依頼して、同国に進出している日本企業の関係者一般を対象に、「フィリピンにおける望ましい企業進出の在り方」を基本テーマとして、同国におけるコンプライアンスの確立・犯罪防止に関する公開講演会形式のセミナーを開催した。

(4) 他の海外協力団体とのセミナーの共催（時期、開催国：未定）

マレーシアの協力団体（マレーシア刑政財団）又はインドネシアの協力団体（インドネシア刑政財団）と共催し、上記（3）のセミナーと同様のセミナーを開催すべく連絡を取り合った。

(5) アジ研が行う海外参加者セミナーへの支援（令和元年12月）

アジ研では、開発途上国における「法の支配」と「良い統治（グッドガバナンス）」の確立に向けた「グッドガバナンスセミナー」を毎年開催しており、同セミナー参加を経済的に支援し、意見交換会を主催した。

(6) フィリピンのモンテンプルパ社会復帰センター運営への支援

フィリピンの刑終了者のための社会復帰施設であるモンテンプルパ社会復帰センターについては、その設立の当初から名古屋支部が支援しており、令和元年度もその運営費の一部をフィリピンの協力団体（フィリピン刑政財団）を通して支援した。

第3 その他の事業

東日本大震災復興支援事業

福島支部では、福島地区の震災復興支援として、避難区域の自主パトロール隊に対し活動費用等について経済的支援等を行うこととしていたが諸般の事情から見送りとなった。

以上